

キャリアアップガイド〔環境分野技術職〕（化学・環境工学等）

職 種	環境分野技術職（化学・環境工学等）
職務内容	[地球温暖化対策] ・産業・業務・家庭・運輸部門への地球温暖化対策 ・気候変動への適応策 [自然との共生] ・自然環境の保全、自然公園、野生動植物の保護、生物多様性保全 ・生物多様性保全に係る国際連携 [資源循環] ・資源循環の推進、一般廃棄物・産業廃棄物対策 [安全・安心の確保] ・大気環境の保全、自動車環境対策 ・水、土壌、地盤環境の保全 ・環境影響評価制度の推進、環境リスク対策、環境マネジメントシステムの普及 ・環境保全に係る分析・検査、調査・研究 [行動する人づくり] ・環境学習の推進、環境面での次世代の担い手育成
主な配属先	・環境局本庁 ・東三河総局（県民環境部環境保全課、新城設楽振興事務所環境保全課） ・県民事務所（環境保全課、廃棄物対策課） ・環境調査センター
め ざ す 職 員 像	環境分野技術職として、専門能力と幅広い知識を有するとともに、企画・調整能力を持ち、総合的観点から判断し行動できる職員
<育成の考え方> ・「SDGs 達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する『環境首都あいち』」の実現を目指す本県の環境行政を持続的かつ発展的に展開していくため、高い専門知識と技術を有し、幅広い視野とバランスを併せ持ち、計画を策定する力、施策を立案し実行する力、調査・指導・交渉する力、正確な分析・検査を行う力などを有する人材を育成する。 ・実務経験を通じて、環境局の技術職としてのキャリアアップを図るため、職員の能力や適性に留意しながら、本庁と地方機関の両方を経験するローテーションでの人事配置を行う。 <主な職務内容別の方針> [地球温暖化対策] 地球規模の環境課題である地球温暖化防止対策の分野で、世界の動きを踏まえた本県の施策を推進するため、計画の策定力、施策の立案・実行力、県民・事業者への普及啓発力などを身に付けさせる。	

[自然との共生]

本県は、都市近郊に海、山、川の豊かな自然が広がっており、自然環境や生物多様性の保全を推進しつつ、開発などの事業活動との調和を実現するため、計画の策定力、施策の立案・実行力、多様な関係者との交渉・調整力、事業者に対する指導力などを身に付けさせる。

[資源循環]

日本一のモノづくり県である本県には、世界に誇る厚い産業力とともに、県民の高い環境意識がある。この地域特性を生かし、資源循環の分野では、廃棄物の適正な処理と3Rの促進、更には、高い技術力によって実現できる廃棄物のリサイクル、未利用資源の活用などで、循環型社会の形成に努めており、このために必要な事業者に対する指導力、計画の策定力、施策の立案・実行力、多様な関係者との交渉・調整力などを身に付けさせる。

[安全・安心の確保]

健康な暮らしができる環境を守り、県民の安全・安心を確保するため、大気環境や水地盤環境などの分野において、高い専門知識と技術に加え、確かな法令解釈に基づく施策の実行力、事業者に対する指導力、環境調査センターにおける正確な分析・検査力などを身に付けさせる。

[行動する人づくり]

多様な環境施策を総合的に推進し、環境首都あいちの担い手を育成する「人づくり」においては、人の成長の各段階に応じた環境学習事業を積極的に推進するため、計画の策定力、施策の立案・実行力、多様な関係者との交渉・調整力などを身に付けさせる。

《キャリアイメージ》

区 分	環境分野技術職(化学・環境工学等)		
	異 動・配 属 の 考 え 方	必要とされる知識・能力	受講すべき研修等
新規採用	基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。 【本庁】 環境政策課、環境活動推進課、水大気環境課、自然環境課、地球温暖化対策課、資源循環推進課 【地方機関】 東三河総局、県民事務所、環境調査センター	【採用3年目まで】 ・環境局技術職員としての基礎固め ・環境関係法令の基礎知識 ・届出事務に必要な法令等の基礎知識 ・事業場等の指導に必要な公害防止技術の基礎知識 ・測定技術、試料採取技術	【基礎研修】 ①環境基礎研修 ②分野別基礎研修 ・届出事務等 ・公害防止基礎技術 ・簡易測定/検体採取 ・その他 ③環境調査基礎研修 【応用研修】 ①分野別応用研修 ・公害防止応用技術 ・立入/事業者指導 ・測定/検体採取 ・緊急時/事故時対応 ・法改正時 ・その他 ②事務所研修 ③環境調査応用研修 【全体研修】 適宜受講 ①環境局職場専門研修 ②環境省研修 ③環境調査センター調査研究成果活用研修
技師・主任 (採用後8 年間)		【採用8年目まで】 ・応用力のある実践的な知識 ・事業場等の指導に必要な公害防止技術の専門知識 ・的確な監視指導を行うための立入技術 ・緊急時/事故時に対応するための知識	
主任級 (9 年目以降)	幅広い視野や専門的な技術・知識を応用できる能力を習得するとともに適正を見出すため、下記の内容により計画的に異動を行う。 ① 本庁と地方機関を経験する。 ② 3ヶ所の所属を経験する。 【本 庁】 ・環境局本庁各課 【地方機関】 ・東三河総局、県民事務所 ・環境調査センター	【採用9年目以降主査級昇任まで】 ・幅広い職務経験 ・実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力	
主査級	課題を設定し自ら取り組むことにより、環境分野技術職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。	・県民、関係機関、業者等に対する説明、交渉、調整力 ・計画の策定、施策の立案・実行力 ・許認可申請者に対する適切な指導力 ・調査、分析結果の利活用	
課長補佐級	環境分野技術職として、高い専門知識・技術力と高度な企画・交渉・調整能力を持ち、総合的な視点から判断し行動することができる。	・県民、関係機関、業者等に対する高度な説明、交渉、調整力 ・計画の策定、施策の立案・実行時の高度な判断力	
課長補佐 (グループ班長)	グループ班長として、幅広い視野とバランス感覚を有し、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務推進するとともに、人材育成など組織マネジメントを行う。	・許認可申請者に対する高度な指導力 ・調査、分析結果の高度な利活用	
備考 (その他関連措置)			